

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	新生児学 Neonatology	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	---------------------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎三牧 正和 小林 茂俊		伊藤 直樹		
—					
—					

	新生児学Ⅰ（1年次）				新生児学Ⅱ（2年次）				新生児学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	新生児の基本的知識および新生児の基本的診察能力を習得し、総合力を向上させる。母胎および胎児の所見に基づいて、新生児の病態を予測できる。新生児の生理学的特徴・栄養について理解する。				新生児医療は限られた年齢層を扱う分野であり、産婦人科学、小児科学、小児外科学、集中医療学といった様々な分野の知識、技術を習得する。身体所見・検査所見に基づいて病的新生児の病態を説明できる。病的新生児の治療計画を立てる。				新生児の蘇生を的確に行う。新生児に対する基本的な処置を行う。病状についての確にプレゼンテーションができる。母子関係について理解する。			
到達目標	1)新生児の生理学的特徴や栄養について理解し、児の状態を把握することができる。 2)児の状態に応じた検査を行い、結果を正しく解釈することができる。 3)児の状態に応じた適切な処置や治療を行うことができる。				1)母体および胎児の所見に基づいて、新生児の病態を予測できる。 2)児の成長発達や予防接種など、退院後フォローアップ計画を立てることができる。 3)新生児外科疾患に関して正常解剖との違いを理解し、段階的な治療戦略を理解することができる。 4)新生児手術前後の管理方法に関して適切に理解し、治療計画を立てることができる。				1)新生児蘇生法専門コースを受講し、資格を習得する。 2)出生前から出生、成長発達、そして次世代までをライフサイクルと考える成育医療を実践できる。 3)新生児医療における手技を繰り返し実践し、習得することができる。 4)児の代弁者として、様々な家庭環境に応じたアドボカシーを、多職種と連携しながら具体的に実践できる。			
事前事後学修	次回の講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。 関連する学会や地方会、地域における検討会などへの参加をし、幅広く学修する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				次回の講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。 関連する学会や地方会、地域における検討会などへの参加をし、幅広く学修する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				次回の講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。 関連する学会や地方会、地域における検討会などへの参加をし、幅広く学修する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	講義への受講態度、回診および小児科カンファレンスや周産期カンファレンスにおけるプレゼンテーションなどから評価やチェックを受ける(受講態度50%、プレゼンテーション技術50%)				講義への受講態度、回診および小児科カンファレンスや周産期カンファレンスにおけるプレゼンテーションなどから評価やチェックを受ける(受講態度50%、プレゼンテーション技術50%)				蘇生講習会資格取得を必須とする。その上で、講義への受講態度、回診および小児科カンファレンスや周産期カンファレンスにおけるプレゼンテーションなどから評価やチェックを受ける(受講態度50%、プレゼンテーション技術50%)			

■主な演習(講義・実習含む)

	新生児学Ⅰ (1年次)	新生児学Ⅱ (2年次)	新生児学Ⅲ (3年次)
板橋	金 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00	金 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00	金 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00
	講義(別途指示)	講義(別途指示)	講義(別途指示)
	火 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00	火 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00	火 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00
	新生児画像実習	新生児蘇生法	新生児蘇生法
	火 曜日 13 : 00 ~ 16 : 00	火 曜日 13 : 00 ~ 16 : 00	火 曜日 13 : 00 ~ 16 : 00
	小児科カンファレンス	小児科カンファレンス	小児科カンファレンス
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

新生児学入門(医学書院)、ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト(メジカルビュー社)
Avery's Disease of the Newborn 9th ed. (ELSEVIER)

その他履修上の注意事項

講義・実習・演習の詳細については個別に案内。
分娩立会いおよび正常新生児の診療など、実習において必要に応じて産婦人科との連携を深める。
心臓疾患や脳神経外科疾患など、当院では習得することが困難な症例においては、他施設と連携して学外実習を状況に応じて検討することがある。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

副科目 小児科学、小児外科学、産婦人科学

共通科目

関連する専門医資格

小児科専門医、周産期(新生児)専門医

キャリアパス(モデルコース)

